

平成 29 年度地域医療介護総合確保基金に係る福島県計画（事後評価）の概要

【県全体】

(達成状況)

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
83.4 人(H24)→91.0 人(H28)→93.5 人(H29)
- ・退院調整ルールへの運用（県内全区域）

(見解)

- ・介護人材の裾野を広げる研修及び介護職員の受講支援等を行うことにより、介護に対する理解や職員の定着化は図られているが、依然として人材は不足している状況。
- ・退院支援マニュアルの作成及び多職種連携による地域ケア会議等の体制整備の推進により、在宅医療提供体制の強化を図る取組が進んでいる。

【会津】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
102.9 人(H24)→114.1 人(H28)→123.7 人(H29)
※会津医療センターの医師数を含む
- ・多職種連携による在宅医療の推進
地域の医療・介護関係者合同で研修会開催
- ・退院調整ルールへの運用

【県北】

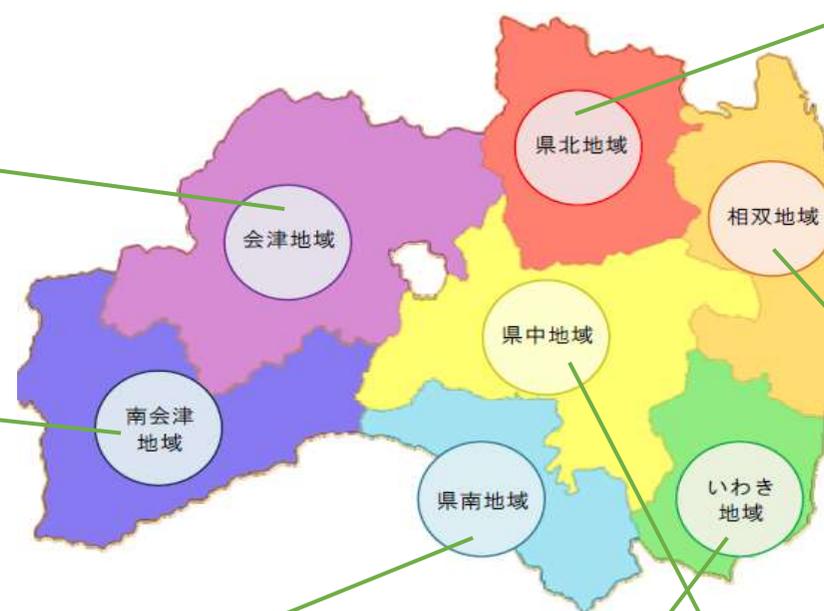
- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
68.1 人(H24)→74.0 人(H28)→74.6 人(H29)
※医大付属病院の医師数を含まない
- ・病床機能の転換に係る施設整備等
回復期病床の整備 190 床
- ・退院調整ルールへの運用

【南会津】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
41.5 人(H24)→47.9 人(H28)→50.3 人(H29)
- ・将来の地域医療の担い手育成
医学生対象にへき地診療所等の視察を実施
※他地域でも同様の取組を実施
- ・退院調整ルールへの運用

【相双】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
37.8 人(H24)→78.6 人(H28)→82.8 人(H29)
※その他、地域医療再生基金を活用し、
「福島県ふたば医療センター附属病院」を整備
- ・退院調整ルールへの運用



【県南】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
75.5 人(H24)→81.2 人(H28)→87.7 人(H29)
- ・平日夜間の小児診療体制の充実
小児科以外の医師を対象に小児救急に関する研修会を開催
- ・退院調整ルールへの運用

【いわき】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
83.0 人(H24)→76.8 人(H28)→77.3 人(H29)
- ・看護師の実習指導者の養成
新たにいわき地域において講習会を実施
- ・退院調整ルールへの運用

【県中】

- ・病院勤務の常勤医師数（人口 10 万対）
108.0 人(H24)→112.2 人(H28)→113.2 人(H29)
- ・在宅歯科医療及び口腔ケアの提供体制の整備
アンケート調査による課題抽出、対応策を検討するための会議・講習会を開催
- ・退院調整ルールへの運用